

漢方
小児科 婦人科
内科 産科
浮田医院
だより



第 37 号

発行所： 浮田 小児科 漢方 浮田医院

〒530-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
(パソコン) <http://www2u.biglobe.ne.jp/~nkita/>
(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>
e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp

発行日：2002年10月5日(月)

発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(37)

肺 II

朝夕とても過ごしやすいとなりました。道端のコスモス、ススキ、リンドウ、つわぶき、山や寺社でだんだんと色づくもみじ。などがこころを和ませてくれます。与えられた場所ですべて咲いている花々は最も美しく見えます。先日、福井県の熊川宿を訪れました。織田信長のころから栄えた宿で、古い建物、雰囲気そのまま残そうとする地元の方々のお蔭で、昔にタイムスリップでき、特産の葛で作った葛餅をいただきながら、往時の人々の生活を頭に描いて楽しいひと時を過ごしました。名水公園では美味しい湧き水を飲み、静寂な小道を散歩できました。

今月は肺についてお話します。去年の一〇月号の続きになります。肺は体の表面を防衛し、肺や皮膚の呼吸、腎臓の水分調節

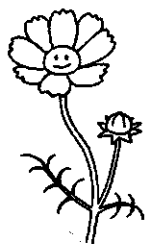


保存の行き届いた熊川宿 (福井県)

を助け、汗、鼻水、嗅覚、体温、免疫を調節しています。

では、実例を挙げましょう。

三〇歳女性、月経痛、過多月経、性交痛、排便痛、腰痛を訴え来院。顔色は青黒く、肌は荒れ、



お腹はやや硬く、両側腹直筋緊張、両側肋骨下に抵抗圧痛、心下部と両側臍傍に圧痛。脈は緊張して細く、舌は暗紫色、薄い白苔、舌下静脈の怒張。子宮は硬く鶏卵大、卵巣は両側とも鶏卵大でチョコレート状。子宮内膜症と診断し、苜蓿調血飲第一加減、サフランを処方。三ヶ月後、月経痛、月経量、排便痛などが改善。卵巣チョコレート嚢腫は不変。一年後、症状は消失、卵巣は不変。二年後、卵巣チョコレート嚢腫は、およそ半分に縮小。三年後、卵巣はほぼ正常大になった。漢方薬を継続中。

二七歳男性、顔、頸、肘窩、膝窩、腹、背中・・・の皮膚はザラザラ、赤く、痒い。色々な引っ掻き傷から汁が出ている。ソラマメ大に盛上った丘疹が多数見られた。顔は赤く、腹は硬く、心下部と両側臍傍に圧痛。脈は細く速い。舌は紅色、薄い黄苔。そこで、滋陰降火湯、桂枝茯苓丸加薏苡仁、大黃、皮膚の乾燥した部分には紫雲膏、ジクジクした部分には太乙膏を処方。二ヶ月後、痒みは減少。六ヶ月後、





痒疹も滲出部も消失。二年後、症状落着き、漢方薬を継続中。
 三四歳女性、中学生の頃から口内炎(二週間で五〜一〇個)が続く。胃腸が弱く疲れやすい。直ぐに腹を立て、なかなか眠れない。顔色は青白い。腹は柔らかく、心下部でジャブジャブと音がする。臍の上下で動悸を触れる。食べ過ぎると吐く。顔と下肢にむくみが見られる。脈は細いがピンと張っている。舌は淡紅色、薄い白苔。そこで、抑肝散加陳皮半夏を処方。二週間後、なんとなく体が楽になってきた。三ヶ月後、眠れるようになる。一年後、二週間に一〜二個程度。二年後、一ヶ月に一個程度。三年後、ほぼ治癒。四年後、漢方薬を継続中。
 二五歳女性、妊娠三週。便秘、脱肛(内痔核)、痔出血を訴えた。赤ちゃんの成長は順調。顔色は良好。腹は軟弱、心下部に軽い抵抗、臍上悸、右の肋骨下に抵抗。脈はふんわりして力がない。舌は淡紅色、薄白苔、周囲に歯痕。親指大の紫色の脱肛。便は硬く、ウサギ状。そこで、麻子仁丸、補中益気湯の内服、強力ポステリザン軟膏、紫雲膏を脱肛に一日三〜五回塗り、甘草湯で腰湯をしてもらった。七

日後、内痔核は見えなくなったが、便秘を整えるため、麻子仁丸の内服と紫雲膏を続け、無事分娩が終了した。お産後、再発を予防するため、およそ一年間、補中益気湯、麻子仁丸、紫雲膏を処方。
 ホームページを更新して、一年が過ぎました。診察や病気(病状)の問合せ、医療機関紹介の依頼、資料(せいらぎ、パンフレット)の請求など、皆さまに十二分活用していただいています。これからも、パソコンや携帯を利用して当院にアクセスして下さい。できる限り速やかにお返事いたします。
在宅訪問診察の時、ほとんどの方は「ありがたうございます」と心から嬉しそうに感謝されます。
 今までの日本を支えてこられた方々です。これからも多くの方の在宅訪問診察を引き受けていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。
 次回は、腎についてです。



院長



子宮内腺症

月経痛、腰痛、性交痛、過多月経、肛門痛、排便痛・・・を伴い、不妊症の50%を占めています。漢方薬の治療で大部分の方はお困りの症状がなくなり、体質が変わってきます。癒着が強く、大きいチョコレート卵巣嚢腫の方にはホルモン治療も併用します。



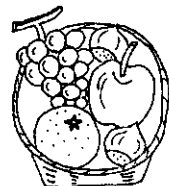
アトピー性皮膚炎

“こころ” “からだ” “環境” が関係しています。不満や心配をなくし、環境を整え(ダニ、カビ、湿度・・・)、乾燥肌(表皮はカサカサ、皮下はジクジクして熱がこもる)をなくすために、漢方薬(内服、外用)を中心に、一部ステロイドなども併用します。

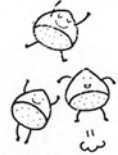


口内炎

虫歯、齧歯、胃腸障害、感染症、妊娠、月経、薬物障害などが原因で口中粘膜や舌が荒れて痛みます。外用薬、うがい、漢方薬などを利用して治療します。再発を繰り返す場合、からだやこころの乱れを調節する治療を取り入れます。



当院の漢方治療



剤型

- ・ エキス漢方薬：錠型タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・ 漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、固まる場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害、・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え症、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膵炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不良、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、下肢静脈瘤、クローラ病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・・・・・・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・ 軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせて治療。
- ・ 重症の病気、エキス漢方薬が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診断法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、心電図、骨量測定・・・・・・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分て測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

アトピー軟膏

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。
・紫雲膏 ・太乙膏

漢方入浴剤

美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・・・・
昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・・・・
アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

処置診

処置、検査、点滴、針、スーパーライザーをご希望の方、診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き、処置の欄にチェックして下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用しています。

在宅訪問診療とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月2～4回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅診療についてお気軽にご相談下さい。

寝たきり老人在宅総合診療とは

病院及びその他あらゆる老人用施設に入所できず、家庭で家族が介護している人の家に行き、居宅療養のお手伝いをする制度です。
1ヶ月の費用はおよそ4000円です。
介護保険に制約されません。

外来診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	-
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	-	○	-	○	-	-

- ◆漢方外来(月～土)：内科・小児科・皮膚科・産婦人科・整形外科・耳鼻科・眼科・・・など全科
- ◆更年期外来(月・夕方)：更年期の方・思春期の方(女性・男性、どなたでもお越し下さい)
- ◆不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
- ◆妊婦外来(火、金)：妊婦健診・妊娠中の方(火)午前11:00～正午は赤ちゃん健診、産後健診
- ◆助産婦相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談 午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期-母親教室

日時：10月15日、11月12日、12月10日(火)
対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)

後期-母親教室

日時：10月8日、22日、11月5日、19日(火)
対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)

場所：当院1階 申込方法：申込ノートでご予約して下さい。 お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

10・11月のケーキ タルト・フロマージュ・オ・マロン チーズと栗の異なった味のハーモニーが楽しめます。

フィナンシェ フランス語で財界人、資本家という意味を表していて、かつては贅沢で高級なお菓子としてとらえられていました。



妊娠中の痔

骨盤うっ血、便秘などが原因で脱肛(内痔核)になります。また、急に血栓がでできると、外痔核(激痛)になります。便通、過労、局所の清潔にこころがけることが大切です。痔の軟膏、座薬、漢方薬(内服、外用、腰湯用)で治療します。分娩後、再発防止に漢方薬の継続的な服薬をお勧めします。



分娩予約

当院で分娩を予定しておられる方、できるだけ早く、受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カード**と**予約金5万円**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**をお渡しします。

助産婦相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。お一人およそ、15～20分に対応します(無料)。
日時：**第2、3金曜日** 午前8:40～午後12:30

立合い分娩

あらかじめ、受付でお申し込み下さい。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時：**毎週火曜日** 午前11:00～正午(有料)

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて、ウツキー! Dr. ウツキーの悩み相談、婦人科、産科、漢方、友達に教える、外来診療のご案内などを掲載(i-mode対応)。

入院食(手作り)

心のかもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

パソコンホームページ (<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

漢方のページ(症例多数、漢方について)
産婦人科のページ、当院の案内、当院への交通、周辺の観光地など掲載。

従業員募集

看護婦、助産婦(常勤、パート)。面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。